



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所
水産研究部水産支援グループ 担当：木村・辻村
TEL：072-495-5252 FAX：072-495-5600

プレスリリース

令和 2 年 8 月 5 日 14:00

府政記者会 関西空港記者会 会員各位
水産経済新聞 みなと新聞 各位

大阪湾でアカガイを放流！
～生き残りや成長を調査中～

大阪府では大阪湾の水産資源を増やすため、魚介類の種苗を生産し、放流する「栽培漁業」を推進しています。その一環として平成 27 年よりアカガイの種苗放流を行っています。今年度の放流は下記のとおり行います。

アカガイの種苗は栽培漁業センター※が放流までの準備を行います。当研究所では貝殻にペンキを塗布して放流し、放流個体の生き残りや成長などを調べるとともに、効果的な放流技術の確立を目指しています。

アカガイは寿司ネタとして有名ですが、市場に流通しているものの大半は海外産であり、国産のものは流通量が少なく高値で取引されています。大阪湾では現在年間 10 トン程度が水揚げされていますが、平成 27 年以降に放流した個体が漁獲され始めており、放流による漁獲量の増加が期待されます。また、アカガイは水中の懸濁物を食べるため、海の環境浄化作用も期待されます。

※ 公益財団法人大阪府漁業振興基金栽培事業場

記

放流種：アカガイ

放流個体数：8 万個

放流サイズ：殻長 3.6 センチ（体重約 10g）

放流予定日：8 月 6 日（木）と 8 月下旬；計 2 日間

※荒天、種苗の状況により変更することがあります。

放流場所：堺市～岬町沖

※調査船「おおさか」の船上より放流します。

放流後の成長：2 年で殻長約 8 センチ（体重約 100g）

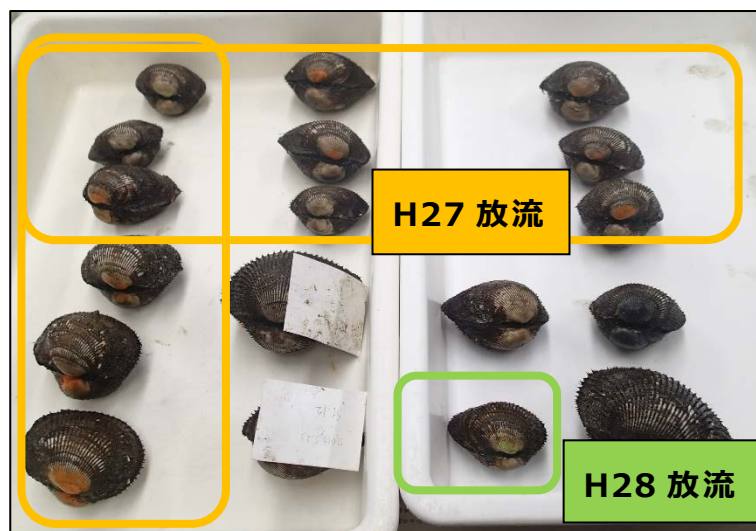
（次ページに写真資料）



標識を付けたアカガイ種苗



放流の様子



漁獲物（H30.5）中の放流個体